



## 2019年を迎えて

過年好！本年が皆様にとりまして良い年になることを心よりお祈り申し上げます。寒さもだいぶ和らいで、気候は春めいて参りました。特に今年の冬は暖かく、スーツの下は実は半袖、上にジャケットを羽織ることもなく終わってしまいそうです。過ごしやすくはありますが、心配なことでもあります。

そのような中、今年に入って早々、鄧偉総領事の離任というニュースが飛び込んできました。昨年「平成の遣中使」という、上山奨学財団が行っている高校生の中国への派遣事業（訪中団）に多大なご協力をいただき、過去にない成功を収めることができました。また、そればかりではなく、名古屋に着任してより現在に至るまで、忘望年会のご参加や、例会での特別講演など、様々な面で私共をサポートしてくださいました。本当にありがとうございました。この場を借りて改めてお礼を申し上げます。鄧偉総領事の今後一層のご活躍を祈念いたします。



さて、この一年間どれほど進歩しただろうかと、昨年の2月の記事を読み返してみました。留学生の進学について苦戦しているということを「特に今年は」という強調した調子で書いておりました。

実は、今年はずっと苦戦しております。つまり、振り返ってみれば昨年の方がましであり、残念なことに全く反省がいかされてないということです。各大学の受け入れ人数の厳格化のあおりで、留学生の進学は厳しくなってきました。それ自体は社会の流れなので仕方がない部分もあるのですが、我々も対応していかなければ、今後、より厳しい状況になっていくことは明らかです。進学を目指す学生たちからのデータだけでなく、より広い意味での現状の把握と、それに合わせた対策を立てていかなければ、来年の今頃は、今年よりも更に苦戦しておりますという記事になってしまいそうです。

今まさに進学指導の真っ最中ではありますが、来年の2月に私が何を書いているのか、是非楽しみにしていただければと存じます。

上山伸治

## 月例会報告

2月5日の例会は、「延辺館」にて恒例の春節祝賀会を行いました。



今回の会場は、久しぶりに「延辺館」でした。



月例会で「温孔知心」の講演をしてくれた史文珍さんの挨拶。今月帰国するそう。

史文珍さんの奥さん、汪宇さん。お二人は日中文化協会でお会いしました。



みんなで一緒にワハハ体操というものもやってみました。



## 中国物産店

今回は、中国物産店で購入できるインスタントラーメンを二つほどご紹介します。インスタントラーメンといっても、乾麺ではなく、ノンフライ麺や米粉（ビーフン）を使ったものが美味しいと思います。日本のものと比較すると少し値段は高いのですが、お手軽に本場中国のスープを味わうことができます。ただし、辛いものは本当に辛いので、その点に関しては注

意が必要かもしれません。

一つめは、光友 9999 というブランドの重慶小面です。黄色い「牛肉面」と赤い「麻辣面」がありますが、黄色い方は美味しかったです。赤い方は少し怖いので、まだ試していません。パクチーやチンゲン菜などを加えれば、それだけで本格中華のできあがりです。



二つめは、螺霸王というブランドの「螺蛳粉」です。こちらの麺は米粉（ビーフン）で、レトルトの具材もいろいろと入っています。やはり辛さには注意が必要で、中に入っている「辣椒油」の使用量は、食べる人に合わせるのが良いです。



## 成語故事コーナー

wánbì guīzhào

### 完璧归赵（璧を完うして趙へ帰る）

戦国時代、あるとき、趙国の恵文王は困っていました。強国である秦の昭襄王から、趙の宝である「和氏の璧（かしのへき）」と、秦国の十五城を交換して欲しいと要求があったからです。

「十五城と交換など、嘘に決まっている。承諾すれば璧を奪われて終わり、拒絶すれば攻め滅ぼされてしまうのではないか。」

預かったものを、損なうことなく持ち主へと返す意味で使われます。日本語で使われる「完璧」も、この故事が語源となっています。

そんなとき、藺相如という男が交渉役に名乗り出ました。

「私が秦に出向きましょう。十五城が得られないのであれば、璧は必ず持ち帰ってご覧にいたします。」

恵文王はその言葉を信じて藺相如に任せることにしました。そして、秦の昭襄王と会った藺相如は、秦に十五城を手放す意思がないことを悟りました。そこで藺相如は、

この時代、秦は既に大国となっており、藺相如は秦と渡り合った知将として名を残しています。

宣太后（昭襄王の母）の生涯を描

昭襄王を騙して璧を趙へと密かに送り返し、こう言いました。

「約束が守られないことを心配し、璧は趙へと送り返してしまいました。昭襄王を騙した罪は、この命をもって償います。」

その胆力に感心した昭襄王は、藺相如を客人としてもてなし、無事に趙へと返したのです。

いた中国ドラマ「ミーユエ」の最終話にも、藺相如と完璧帰趙のエピソードが登場します。

## 漢方教室 98 お酒の健康習慣

お酒を楽しく飲むためには、なんといっても「自分の適量を守る」ことが重要です。しかし、仕事のお付き合い、上司の誘い、忘年会、同窓会…私たちの生活にはつつい飲みすぎ要因があふれています。

### ■二日酔いのメカニズム

アルコールは体内で2段階に分解されます。はじめは、アルコール脱水素酵素によって、毒性の強いアセトアルデヒドに、そしてアルデヒド脱水素酵素によって無害化され、体外に排出されます。日本人の4割以上が2番目のアルデヒド脱水素酵素

の働きが弱いため悪酔いや二日酔いを起こす人が多いとされています。

### ■ダメージが深刻になる前に

飲み会するとき一緒に飲んだ同僚はピンピンしているのに、どうして自分だけへろへろなのか？それは、体内の酵素が不足していることが原因です。

お酒を飲むほど、体内の消化酵素が消耗していきます。お酒を楽しく飲むには、体内酵素の働きが鍵になります。それをサポートするのが『肝ラク』です。



日本安恵の『肝ラク』は、アルコール脱水素酵素をはじめ、しじみエキス、牡蠣肉エキス、ウコン、亜鉛など9種の栄養素を濃縮し、バランスよく配合したサプリメントです。



お酒の健康習慣

興味のある方は、052-242-3930まで。中統ビル3階 日本安恵株式会社

中国からの引き揚げ—思い出すがままに②

福岡県の博多駅から岐阜県の瑞浪駅まで、鹿児島本線、山陽本線、東海道本線、中央本線を乗り継いで、目的地の瑞浪駅に着いたときには、あたりが暗くなっていました。途中の様子についてはあまり覚えていません。乗った車両は客車でしたが、背もたれが垂直で、木製、座る部分の布が所々はぎとられ、中の緩衝材が飛び出ているものもありました。でも、内地上陸前に乗った貨物車両、屋根のない無蓋車両に比べれば立派なものでした。途中の駅の何箇所かで、お茶やおにぎりの差し入れがあって、温かい日本人の心に触れることができました。原爆で被災した広島を通りましたが、記憶に残っていません。原爆投下後1年と少したったくらいですからまだ完全に復興はしていなかったでしょうね。

夜暗い瑞浪の駅には、当時恵那にあった旧制恵那中学に在学していた兄が出迎えてくれました。兄は、満洲の小学校を卒業したのち、志をかなえるため、内地の中学に入って勉強していました。瑞浪の家には、祖母、叔父、兄と3人で暮らしていましたが、父母、叔母2人、姉2人、妹、弟、私で9人、総勢12人の大家族になってしまいました。

実家での最初の夜のご馳走は、「いわし」でした。満州ではあまり食べた記憶がありません。身はもちろん、はらわたも残さず食べるよう叔父に言われ、食べました。骨は皿の上に残して置いておくと、今度は骨を火鉢の上で焼いて食べさせてくれました。内地の一夜はこうして暮れていきました。

杉本 克治

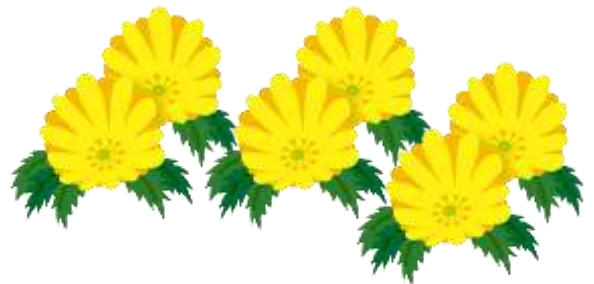
2月誕生日の人の言葉

私の好きな有名人の一人にみうらじゅんさんというイラストレーターがいます。彼は京都出身で、子供の頃からスクラップを作るほどの仏像マニアです。

彼は仏教の教えを追及するというよりは仏像をアートとしてとらえていて、全国各地（時々海外）で「見仏」してはかなり好き勝手な解釈をした「見仏記」という本を何巻も出しています。たとえば日本の漫画の劇画タッチ（怒った時に髪が逆立っているような絵）は明王の仏像がモデルになっているに違いないとか、地方によって妙に頭部の小さい仏像ばかり存在するのは、仏師が都などで大きな仏像を足元から見てスケッチや記憶をし、帰ってから制作にとりかかる時にはパースが狂ってしまっているからだ、という感じです。

寺社関係者も彼の言うことはあながち嘘ではないと言い始めていて、昔からある物に全く新しい解釈が生まれることはとても面白いと感じています。

事務局 石井 美智子



日産のe-power

先月、我が家に新しい車がやってまいりました。日産セレナのe-powerというタイプのものです。

e-powerは、モーターの力を使って走るという意味では電気自動車と呼べるのですが、肝心の電力供給はどうするのかというと、充電スタンドで充電するのではなく、ガソリンエンジンで発電するという奇妙な作りです。しかし、実際には燃費がとても良く、ガソリンスタンドも至るところにあるため、給油すれば済むe-powerは非常に扱いやすいのです。操作は簡便で走行も安定しているため、試乗したときにこの車を買うことに決めました。

また、衝突防止機能の搭載や高速走行時の速度管理、駐車するときのパーキングアシストなど、様々な場面でコンピューターが活用されています。使い勝手の意味で言えばまだまだ不満が多いレベルですが、今後の発展を期待できる分野だと思います。AIによる全自動運転とまで行かずとも、操作の多くをパネルで行うようになる日は近いのかもしれませんが。

数年後、次の車に買い替えるとき、車を取り巻く環境はどのように変化しているのでしょうか。考えただけでわくわくしてしまいます。



## お知らせ

### ★3月例会

日時：3月5日（火）18：00～

講師：楊衛平氏

### ★JCCA 中国語サロン

日時：3月2日（土）16日（土）14：30～

### ★日本語広場

3月の日本語広場はお休みです。

### ★4月例会

日時：4月2日（火）18：00～

講師：董紅俊氏

### ★5月例会

5月例会はゴールデンウィークにつきお休みです。

### 上山学院日本語学校からのお知らせ

#### ・スピーチ大会

3月14日（木）9:00～12:00 中統奨学館ビル4階にて、恒例の上山学院スピーチ大会を開催します。様々なテーマ、様々なお国ぶりに触れることもでき、文化協会の会員としてもなかなか興味深い機会です。ぜひご参加ください。参加会員による日中文化協会賞選考のご協力もお願い致します。

#### ・卒業式

3月19日（火）10:00 上山学院卒業式を行います。

### 3月例会

・日時：3月5日（火）

18：00～ 中国語で話そう会

19：00～ 漢方の健康法

講師 楊衛平氏

19：50～ 交流会

・場所：日中文化協会 4F

・参加費：無料



### 宮本雄二 元駐中国特命全権大使の特別講演会 報告

2/16に東海日中関係学会主催で、「米中新冷戦と日中新時代の行方」について宮本元大使からお話を聞くことができました。当協会の会員さんたちや、上山奨学財団の遣中使たちも来て下さり、ありがとうございました！日中交流の大切さを改めて認識する内容でしたので、いくつかご報告致します。

◆ソ連崩壊後、アメリカが先頭になり引っ張ってきた時代に格差社会などの陰りが見え始めた。対して中国経済の発展により、アメリカの中国に対する見方が変わり、難しい国難な時代になった。アメリカは、中国は変わるということを念頭に置きながら関係を考えていかないと、経済はうまくいっても軍事安全保障は衝突してしまう。

◆2010～2016年の間、尖閣諸島の問題をきっかけに日中がギスギスした関係になり、結果マイナスだけで両国に利益なし。中国のアジア外交は日本との良好な関係がなければ成立しない。最近では日米対中国になってしまっている。日中はどんな状況でも安定した関係を保たなければならない。

となりあった大国同士をめざして！！

◆6月の訪中ではものすごい合意あったが、すぐに次の問題がおこり実施されない。日中首脳はチェックメカニズムを導入し、前回の合意がどれだけ実施されたかを確認しながら1つ1つ実施することにより、必ず信頼感が生まれ、もっと色々話せるような関係（軍事の問題も）になる。

◆1990～2000年代生まれの中国人は日本アニメで育っており、日本の価値観に深い理解を持っている。中国アニメでは悪役は1回で殺されるが、日本アニメでは悪役が何回も出てくる（代表的な例はアンパンマンのバイキンマンの扱い）。

◆中国の政策は日本と違い短期間で決めるため（しっかり検証しない）、過剰反応する必要がない。実際の中身は皆で決める。だから大きく中国をとらえて！

◆もういちど安全保障関係がどうしたら緊張しないか、地域全体の安保を考えて関係各国が協力しなければアジアは不安定である。

◆中国国民は多様化してきているので（日本より自由？）、一般論で中国はとらえられない。文化の近さを大切に、今後も交流を続けて下さい！

### 編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mailアドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEBサイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp宛にご送付ください。ニューズレターは、WEBサイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会

編集長 上山耕治